

■ 通巻第7号



冊子名 薬-ひこばえ-第4号【テーマ：眼鏡】

発行日 2015（平成27）年1月4日

筆者名 霧谷 のあ、篠崎蓮、野生のペット、ゆうや

頁数/発行部数/サイズ 64頁/30部/A5版

主な内容 三行詩・文芸詩・俳句・短歌・缶詰・散文・反省文

印刷所 ちょ古っ都印刷工房

装丁 オフセット本

（表紙・ミラーマット紙フルカラー印刷、本文紙・上質70kg、前遊び紙・緑）

販売価格 150円

備考 表紙レイアウトをそのまま、オフセット印刷に変更。

遊び要素であった発想練習・特別企画を廃止、テーマ制と缶詰（評論）を復活。
文芸作品の質の向上を目指す。

レイアウトについて

- ・俳壇と散文だけテーマと自由が分かれていない。→テーマ作品がない（少なすぎた）。
- ・ちょ古っ都印刷工房について、製本は悪くないが手触りが汗ベタつきそうでいまいち。
- ・印字が薄く、表紙の紙がツルツとしすぎて、表紙の紙がそる。
→印刷費が安くコスパがいい、薬のみという条件で今後も継続。
- ・テーマ作品と自由作品の作品数のバランスが悪い。
- ・ヘッダーで「三行詩（自由）」「三行詩（課題）」という風に分けても良かったのでは？
- ・テーマが「眼鏡」であるという事をすぐ忘れてしまう。もっと目立つ位置にアピールできれば良かった。（表紙・中表紙・目次の裏なり）
- ・「親愛なるJ」と「聖者の行進」に「小説」などの記載が欲しかった。

作品について

●総合

- ・全体的に全ての作品に「？」「！」の多用が目立つ→記号に頼らない文章づくり
- ・出産のインパクトが強すぎた。
- ・三行詩以外は自由とテーマが半々で、「眼鏡」とテーマを作ったにも関わらず、眼鏡の印象が残らなかった。（むしろ出産の印象を強く受けた）
《なぜ出産の印象が強いのか？》
- ・内輪ネタだった。 ・エッセイという文字数が多い作品が子育てネタだったから。
- ・「眼鏡は煩わしいけど俺にとっては強いパートナー」的な作品が多かった
→ありがちなネタに溢れた為に印象を薄くさせた。

- ・エッセイのインパクトが強い（赤裸々すぎてインパクトが強い）
- ・エッセイと小説の計3作品中2作品が育児に触れてる。
- ・ゆうやが育児に偏り、野生が（俳句のみ）冬に偏っていた。
→あまり偏りが無い方がいいかも。（参加人数が少ないと偏りが目立つ）
- 三行詩
- ・ゆうや「地獄のプリンセス」が面白かった。 ・霧谷のあ「矯正具」よかった。
- ・篠崎蓮「目の前の境界面」
- 文芸詩
- ・ゆうや「地獄のプリンセス」が散文とネタかぶりしている。
- ・霧谷のあ「右往左往」とても共感できるのに、読後が消化不良になる。
- ・ゆうや「しがらみ」がありがちな作品ながらもテンポ良くて読みやすい。
- ・野生のペット「247号」が国道だと分かりづらかった。タイトルに国道といれて良いかも
- 俳句
- ・ゆうや「落ち葉踏み」字余りがひっかかる、怖い。でも良かった。
- ・霧谷のあ「石選び」が良かった。 ・野生のペット「雪道を」のグイグイが良い。
- 短歌
- ・のあ「全身を」が良かった。（字足らず）
- ・篠崎蓮「眼鏡ってさ」（字余り）
- 缶詰
- ・外部から「偉そう」とクレームを頂きました（×「選者」→○「選んだ人」「書いた人」）
→全く持ってその通りなので、今後は「選んだ人」と表記します。
- ・感想か評価かを明確化して欲しい（by 読者）→感想です。
- ・野生のペットの作品は、言葉遊びを入れてるのに、感想に一切そのことが書かれていなかった。そんな事に気づけない感想文が、評価であって欲しくない。
- ・感想なら感想で、最低限の礼儀を払う（文章をですます調に統一する等）
- ・「残念」という書き出しはムツとするので攻撃性の高い単語は避ける。
- ・缶詰は作品の優劣を決める場ではなく、作品を通じて作者の心情をどう読み取ったかという「読み取り能力」と、それを読んだ書き手の再発見を積み重ねて、書く力・読む力の向上を目的に設置しています。
→それゆえ「一番好きな作品」を選んで感想を書いてもらっています。
- ・合ってる合ってない等で「褒め殺し」や「あら捜し」にもなってはいけません。
- ・べきべき論はやめましょう。
- エッセイ
- ・面白かった（読みやすかった）、笑えた。 ・野生のエッセイが読みたい。
- 反省文
- ・反省文が短すぎるのでは？（笑いがとれないのでは？）→薬では笑いを抜きます

大反省会（7）

- ・ 反省文はもっと短くしてもいいのでは？
- ・ 編集後記と文字数が同じぐらいになっているのが気になる。
- ・ 反省文と編集後記が別に存在している理由を明確にしたい。
→ さきがけの反省文を長く、薬の反省文を短くする。

その他

- ・ 表紙の写真、川べりにカップルやおじさんが写っている（肖像権について）
→ 次回から気を付ける。